

報道関係者各位：

Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA
ファイナリスト 4 名が決定！
2018年3月、天王洲でファイナリスト展を開催
3月8日アートフェア東京 2018 会場で大賞を発表

一般社団法人 アート東京が主催、寺田倉庫が特別協賛する「Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA」。第二回目の開催となる本アワードのファイナリストに以下4名が選出されました。

AKI INOMATA / 小金沢健人 / 冨井大裕 / 和田昌宏 (五十音順)

ファイナリスト4名によるグループ展を、2018年3月3日から18日まで、TERRADA ART COMPLEX 4階フロア（品川区東品川1-33-10）で開催します。大賞は、2018年3月8日（木）アートフェア東京 2018 会場内（東京国際フォーラム、千代田区丸の内3-5-1）で発表予定。



本アワードは、2段階の選定を経て大賞を決定します。まず、選考委員の国内若手・中堅キュレーターが議論を重ね、ファイナリストを選出。選考委員は、本アワード ディレクター小澤慶介と、国枝かつら氏、金澤韻氏、服部浩之氏、山峰潤也氏の5名。ファイナリストは新作あるいは準新作を制作し、2018年3月、TERRADA ART COMPLEXで開催するファイナリスト展で展示します。次に、展覧会開催期間中、国内外の第一線で活躍するアート関係者からなる審査員が審査会を実施し大賞を決定、3月8日にアートフェア東京 2018 会場内にて発表します。大賞受賞者には、今後のさらなる活躍を期待し、賞金、制作活動場所、そして上海とアートフェア東京 2019 での受賞作発表の機会が提供される予定です。

アワード概要

Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA は、日本からアジア、アジアから世界へと、今後ますます国際的な活躍が期待されるアーティストの支援を目的に創設された現代アートのアワードです。本アワードの対象は、現代アートの領域で活動し、同時代のグローバルな問題意識とともに世界を見通す力が作品に現れているアーティストです。

タイトル	: Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA
主催	: 一般社団法人 アート東京
特別協賛	: 寺田倉庫
協賛	: TERRADA ART ASSIST 株式会社
協力	: 文化庁

【特長】

- ・ 国内の若手から中堅キュレーター5名が候補アーティスト4名を選出
- ・ アートフェア東京 2018 と同時期に展覧会を開催し受賞者を発表
- ・ 国内外より招聘された審査員による大賞審査

【賞金および副賞】

大賞	賞金 100万円(予定)
	副賞 上海での受賞作展示(予定) 及び 作品制作場所の提供(半年間-1年間)(予定)
特別賞	作品制作場所の提供(半年間-1年間)(予定)

【展示巡回】

ファイナリスト新作・準新作	— 2018年3月 TERRADA ART COMPLEX 4F(東京)(予定)
大賞受賞作品	— 2018年11月 上海(予定)
大賞受賞作品	— 2019年3月アートフェア東京2019(東京)(予定)

展覧会概要

名称	: Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA – ファイナリスト展
会期	: 2018年3月3日(土)から3月18日(日)まで(会期中無休)
会場	: TERRADA ART COMPLEX 4階 東京都品川区東品川1-33-10 入場無料

大賞決定記者発表 ※プレス関係者向け

日時	: 2018年3月8日(木) 15:00~(予定)
会場	: 東京国際フォーラム 地下2階 ホールE セミナールーム 東京都千代田区丸の内3-5-1

ファイナリスト選考委員 (*敬称略)

小澤慶介	本アワードディレクター/アートト 代表/インディペンデント・キュレーター
金澤 韻	インディペンデント・キュレーター/十和田市現代美術館 学芸統括
国枝かつら	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 学芸員
服部浩之	インディペンデント・キュレーター
山峰潤也	水戸芸術館現代美術センター 学芸員

主催・特別協賛について

ART
TOKYO
ASSOCIATION

主催：一般社団法人 アート東京

一般社団法人 アート東京は、日本のアートマーケットの発展と芸術文化の振興を目的とし、アートに関連する様々な事業を企画・制作しています。国内最大級のアートの国際見本市「アートフェア東京」を主催するほか、日本のアート産業に関する市場調査の実施、アートを切り口に地域の魅力を外国人に紹介するアートツーリズム事業等、アートフェア東京で培ったネットワークを活かし日本のアートシーンの発展に寄与しています。

特別協賛：寺田倉庫

寺田倉庫は1950年の創業以来、美術品、メディア、ワインといった専門性の高い商品の保存・保管技術では国内外で高い評価を得ています。近年は拠点とする天王洲をアートの集積地・発信地とすべく、ミュージアム、画材ラボ、レンタルアトリエの運営、アートアワードの開催といったアート関連事業にも積極的に取り組んでいます。

 TERRADA

AKI INOMATA

1983 東京都生まれ / 東京都在住



2008年東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。生き物との協働作業によって作品制作をおこなう。主な作品に、都市をかたどったヤドカリの殻をつくり実際に引っ越しをさせる「やどかりに『やど』をわたしてみる」、飼犬の毛と作家自身の髪でケープを作ってお互いが着用する「犬の毛を私がまとい、私の髪を犬がまとう」など。近年の展覧会に、「Coming of Age」(Sector 2337、シカゴ、2017)、「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」(2016)、「ECO EXPANDED CITY」(WRO Art Center、ヴロツワフ、ポーランド、2016) などがある。2017年ACCの招聘でニューヨークに滞在。



やどかりに「やど」をわたしてみる -White Chapel-
2014
樹脂
6×6×6cm
©AKI INOMATA courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY



girl, girl, girl . . .
2012
ミノムシ、服地、映像、写真
サイズ可変
©AKI INOMATA courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY

小金沢健人 Takehito Koganezawa

1974年 東京都生まれ / 広島県在住



武蔵野美術大学映像学科卒業後1999年ベルリンへ渡り、同地で18年を過ごしたのち2017年に帰国。時間への興味を振り出しに、日用品の使い方からシャーマニズムまで、幅広く“意識の変容”に関心を持ちアプローチしてきた。映像、ドローイング、パフォーマンス、立体製作、インスタレーションと制作のメディアを拡張している。「横浜トリエンナーレ2015」(2005年)、「あいちトリエンナーレ2010」(2010年)などの大型国際展に参加多数。主な個展にKOGANEZAWA (Haus Konstruktiv, Zurich 2009年)、Luftlinien (Haus am Waldsee, Berlin 2012年)、煙のゆくえ(スパイラル 2016年)など。



速度の落書き
2008
マルチチャンネルビデオ・インスタレーション
サイズ可変



電流の繁殖
2009
223本の蛍光管、タイマー
サイズ可変

富井大裕 *Motohiro Tomii*

1973年 新潟県生まれ / 神奈川県在住



既製品に最小限の手を加えることで、それらを固定された意味から解放し、色や形をそなえた造形要素として、「彫刻」のあらたな可能性を模索する。近年の個展に、「像を結ぶ」(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku/東京、2017)、また主なグループ展に「MOT アニュアル 2011」(東京都現代美術館、2011)、「横浜トリエンナーレ 2011」(横浜美術館、2011)、「単位展—あれくらい どれくらい どれくらい?」(21_21 DESIGN SIGHT/東京、2015)、「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋—日本と韓国の作家たち」(国立新美術館/東京、韓国国立現代美術館(果川館)/ソウル、2015-2016) などがある。



PP_FS #11
2015
紙袋
152×50×18cm
©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates
Photo: YANAGIBA Masaru



粘土の為のコンポジション
2014
陶、テラコッタ
*作品により異なる
©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates
Photo: YANAGIBA Masaru

和田昌宏 *Masahiro Wada*

1977年 東京都生まれ / 東京都在住



2004年 ロンドン大学ゴールドスミスカレッジファインアート卒業。個人としてアーティスト活動の他、現在「国立奥多摩美術館」や「Ongoing Collective」など、オルタナティブスペースやアーティストコレクティブの活動にも関わっている。近年の主な展覧会に「 $R\mu v - 1/2g\mu v R = (8\pi G/c^4)T\mu v$ 」(LOKO GALLERY、2016)、「どしゃぶりの虹 (YAMAMBA)」(Art center Ongoing、2016)、「奥能登国際芸術祭 2017」(奥能登口伝資料館)、「富士の山ビエンナーレ 2016」(旧蒲原劇場、2016)、「国立奥多摩映画館」(国立奥多摩美術館、2016)、「国東半島芸術祭『希望の原理』」(旧香々地町役場、2014)、「横浜トリエンナーレ 2014」(横浜美術館、2014) などがある。



A Song For My Son (蒲原)
2016
ミクストメディア (ダブルスクリーンインスタレーション)
サイズ可変
Photo: Ujin Matsuo



遠い昔、はるか彼方の銀河系で、
2014
ミクストメディア
サイズ可変

お問合せ先

- ・ プレスリリースに関するお問合せ：一般社団法人 アート東京 [島田]
E-MAIL: press@artfairtokyo.com / TEL: 03-5797-7912
- ・ アワード、展覧会に関するお問合わせ：一般社団法人 アート東京 [三木]
E-MAIL: office@asianartaward.com / TEL: 03-5797-7912